

「さくらの種」を残して

3月16日(火)には、庄内さくら学園中学校として初めての「卒業式」が行われました。今年も、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により、少し規模を縮小し、卒業生と保護者だけの形での実施となりました。1期生にとって最後の授業となる「卒業式」は、とてもいい雰囲気のもとで行われました。在校生代表からの感謝の気持ちを込めた「送ることば」につづき、卒業生による「決意のことば」では、統合そしてコロナ禍という苦難を乗り越え取り組んできた思いがいっぱい詰まったもので、1期生の仲間に、1・2年の後輩に、そして保護者や先生方に少し涙につまりながら感謝の気持ちをこめたことばで語っていました。最後の「卒業の歌(遙か)」でも、マスク着用で歌いにくかったと思われそうですが、一人ひとりの思いを込めた、すばらしい歌声を聞かせてくれました。



決意のことばの中で語られた後輩に託した思いを以下に掲載します。

◆在校生に向けたメッセージ(決意のことばより)



在校生のみなさん、私たちの後輩でいてくれてありがとう。最初はどう接したらいいかわかりませんでしたが、気さくにしゃべりかけてくれたことやクラブなどで関わるうちに仲良くなり、たくさん話したことを今でも覚えています。私たちが大切にしてきた仲間とのつながりを、同じ仲間の一員としてこれからもつないでいてください。

私たちの桜の木は、卒業式の今日、満開になりました。

そして、2期生のための種を残して、1期生の桜は散っていきます。私たちがこの中学校生活で経験してきたことは、大切なものばかりです。友だち・仲間・先生方との出会い、仲間と共に手を取り合っ、つらいことを乗り越える力、何事も楽しむ気持ち、何一つかけてはいけません。これらすべてに感謝をし、これからも私たちが強く、まっすぐ過ごしていくことを心に誓い、決意のことばとさせていただきます。

◆「進路を聞く会」でも1期生からメッセージを受け取っていました

1期生からのメッセージは、卒業式に先立って行われた「進路を聞く会」でもしっかり受け取っていました。3月5日の「進路を聞く会」は、3年生が進路選択で悩んできたことや思い、そんな中で気づいてきたことなどを1・2年生に伝えてくれるものでした。「進学は、自分の人生を変える最大のチャンス。自分と向き合っ、いっばい悩むこと」「勇気を出して自分の気持ちを伝えること」「先延ばしにして、未来の自分にまかせるのではな

く、今の自分が頑張ること」「いろんなことを知り、自分に合った方法を見つけ、努力を続けていけば、どんな結果であれ、自分自身が成長し、将来への道も広がっていく」「目標や夢をもつと、つらい期間も乗り越えられる」「しんどくてもあきらめなかつたら、『やってよかった』と思う時がくる」というものでした。1期生からのそんなメッセージを、1・2年生のみなさんは、少しずつ形にしていってほしいと思います。

満開の花をつなぐために

「立会演説会」でみせた自治の力

3月23日(火)には、次年度前期生徒会役員選挙が行われました。1期生から託された思いをしっかりと受け継いでいくんだとの思いがいっぱい詰まった「立会演説会」となりました。庄内さくら学園中をよりよくしていくために「自分からやってみよう」のチャレンジ精神で、6名のポストに対して、9名の方が役員候補に立候補してくれました。「元気よく、メリハリのある学校」に、「一人ひとりが楽しく、支え合える学校」に、「学校に行くのが楽しい、そんな笑顔あふれる学校」に、「一人ひとりが思いをもち、自分の思いを言い交せる学校」に等々、学校スローガンである「一人ひとりが強いつながりをもてる学校」にしていくために「立会演説会」で語る姿は、本当に前向きな気持ちがいっぱいあふれるもので、とても素晴らしいものだったと思います。またそれぞれの演説を聞く側の姿勢も素晴らしく、一人ひとりの声にしっかりと耳を傾ける姿がありました。「自治の力」を高めていく大きな一歩を踏み出してくれたと実感できるものでした。



選挙の結果、6名の役員には井本雄大さん(1-1)、小谷優菜さん(1-2)、石本創大さん(2-1)、宮野健勝さん(2-2)、瀧璃子さん(2-4)、毛利天翔さん(2-4)が選出されました。今回、残念ながら選出されなかったメンバーも含めて、庄内さくら学園中学校で大切にしていけることは何かをしっかりと示してくれたと思います。

生徒全員が生徒会の一員であるという思いを共有し、さくらの木に満開の花をしっかりと咲かせるために、これから取り組んでいってくれるものと思います。

保護者の皆様へ

庄内さくら学園中学校の1年目が終わりました。六・十中の統合という節目の年に、新型コロナウイルスの影響でなかなかいいスタートが切れませんでした。6月から動き出したものの、1学期は手探りの状態でした。2学期になってようやく行事ができ、本校が大事にしていきたい「仲間とのつながり」への取り組みが動き出した感がありました。子どもたちも、学校スローガン「一人ひとりが強いつながりをもてる学校～『自治の力』を高め、未来を切り拓く」の想いを少しずつ形にしていこうと頑張ってくれました。保護者の方々の見守りやサポートがあったおかげだと思います。そんな子どもたちの頑張る姿や学校の様子を少しでも届けたいと思い、「学校だより」も定期的に発行してきました。次年度も引き続き「庄内さくら学園中生」に温かいまなざしを向けていただきたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。 **おかげさうございました**